

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会 便り

2023年1月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778



新年に寄せて

私たちの社会では、他者への思いやりを欠く言動や、とげとげしさが目立つようになりました。なぜこんな社会になったのでしょうか。

物価高にあえぐ庶民の生活がある一方で、「法務大臣は票や金にならない」発言や、政治資金パーティーで数千万円の利益を得て、それを報告しない国会議員の姿があります。近隣諸国との緊張をあまり防衛費を大幅アップするまえに、仮想敵国を作らない外交に汗を流す政治はないのでしょうか。私たちが思う以上に政治が劣化しているのではないかと思います。

歯を食いしばって、地方から、まともな政治を取り戻し、平和で福祉の充実した社会を求めて活動していきます。人の温情を互いに感じ合い、助け合う社会を取り戻すため活動していきます。

新年を、皆さまと共に、希望ある年にしていきましょう。

臨時会、定例会での補正予算

- 11月臨時議会補正予算 253.1億円
(うち台風第14号災害対策 187.5億円)
(うち原油価格・物価高騰等総合緊急対策 50.8億円)
- 11月議会補正予算その1 13.8億円
(国庫補助決定に伴うもの、庁舎等の電気代等高騰に伴うもの約6億円及びその他必要とする経費=コロナ対応の時間外手当増額分など)
- 11月議会補正予算その2 292.1億円
(国の令和4年度補正予算(第2号)に係るもの=公共事業約284億、職員の給与改定に係るもの約2億、及びその他必要な経費=水産高校実習船造船費用6億円など)
- 11月議会補正予算その3 38.5億円
(国の令和4年度補正予算(第2号)に係るもの=送迎バスの安全装置など約9.6億円、年明け以降の観光需要喚起策に係るもの約19億円、及び高病原性鳥インフルエンザ対策に係る経費約9.4億円など)
合計約597億円の増額補正がなされました。

11月1日と2日で臨時会が開かれ、11月18日から12月7日まで定例会が開かれました。

それぞれの議会でコロナ対策、物価高対策、原油高対策、そして台風14号災害からの復興に向けた補正予算が提案されました。定例会では冒頭提案に加え、国の予算審議と並行する形でさらに二度の追加補正予算が提案されました。

取り組むべき課題も多く、災害からの復旧・復興はスピードが求められています。職員も一生懸命予算作成をしていますが、その間、鳥インフルエンザ防疫作業にも出勤した職員の皆さん、本当にご苦労様でした。

立憲民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

2015年県議選に初当選、現在二期目。厚生常任委員会委員長
立憲民主党宮崎幹事長
現在61歳
社会福祉士、宮崎県里親协会会长

十一月議会では一般質問に登壇しました。その様子を中心に報告します。

働く者の立場を守り、全ての子どもに、幸福な未来があるように祈ると同時に、行動していきます。

様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるように頑張っていきます。

皆さまの、県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

沿岸部に生活する皆さんにとって「津波」はとても関心があることと思います。いざというときに動けるように、日頃の避難訓練が大事になります。

津波から逃れるために、緊急・一時的に避難する施設としてビルやマンション、立体駐車場などを「避難ビル」と指定して協力をいただいています。

この避難ビルを、避難訓練のために利用することはやりづらいという声を聞きました。

人様が居住されているので、配慮は必要でしょう。いざという時だけということではありませんが、日頃から訓練をしっかりとっておくことは防災上必要だと思います。避難ビルを利用した訓練の実態について、危機管



理統括監に質問をしました。

答弁では「避難ビルへの避難訓練は、建物の所有者や居住者の協力が必要になり、あまり実施されていない。今後とも、実効性のある避難訓練が実施されるよう沿岸市町と連携していきたい。」とのことでした。

津波避難ビルは宮崎市内で二七〇カ所ほど指定されています。

避難ビルへの避難は、夜間・休日の対応、オートロックの開錠、避難時の安全確保上の責任、ビルの破損等の課題、プライバシー確保など配慮すべきことが多岐にわたりますが、地域住民とビル所有者・居住者との日頃からのコミュニケーションを円滑にするためにも、避難訓練を企画してはいかがでしょうか。



もっと予算・人材を福祉と教育に向けて

私の質問や、その答弁、提案された事業をご紹介します。

☆質問 ☆(知事の福祉・医療政策に対する思いについて) 知事の手向けた政策において医療・福祉に對する思いを確認したい。

☆答弁 ☆(知事) 福祉・医療の充実には安心して暮らせる社会の根幹である。就任以来、ドクターヘリの導入や県立宮崎病院の建設など強化してきた。重度障害者医療費助成制度など地域生活を支える施策に取り組んだ。県民のいのちと健康、暮らしを守っていく。

☆質問 ☆(精神科医療について) 国連の障害者権利委員会は、日本の精神科医療のあり方について政府に勧告を行った。社会は変化を求められているが、知事の所見を伺いたい。



☆答弁 ☆(知事) 地域社会において自立した生活が送れるように要請されたもの。入院医療中心から地域生活中心へとという基本理念に基づいて、取組が進められると思う。理解促進と支援体制の充実に取り組むことで障害のあるなしで分け隔てられることのない社会の実現に努める。

☆私の思い ☆ 地域経済の振興に目が行きがちですが、ここに暮らす一人ひとりの幸福がここにこそであると思います。安心して暮らせる宮崎づくりに對する思いを確認しました。

☆質問 ☆(インクルーシブ教育について) 国連の障害者権利委員会は、分離教育となっている日本の特別支援教育のあり方を批判し、インクルーシブ教育の推進を勧告したが、教育長の所見を伺いたい。

☆答弁 ☆(教育長) いわゆる共生社会の実現は不可欠で、インクルーシブ教育はたいへん重要で推進に努めていく。個別のニーズも尊重し、学びの場の選択が的確であることも重要である。

☆私の思い ☆ 日本の常識は世界の非常識だったりする問題。教育にかける予算が削られる中で、分離教育の見直しに消極的です。対GDP比で先進国最低である教育予算では、インクルーシブ教育を進めるために必要な人員の配置は困難と言えます。必要な人員の配置は困難と言えます。必要以上の教育にもっと予算を！

☆質問 ☆(県庁ライトアップのカラーはどんな意味?) 県庁本館が様々な色にライトアップされるが、その色が示す意味の検索を容易にしてほしい。



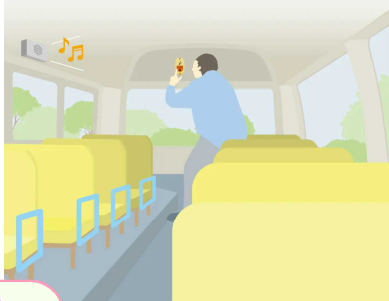
☆答弁 ☆(総務部長) 県が実施する様々な啓発事業のイメージカラーを投影している。色の意味を丁寧に説明できるように、ライトアップ情報を県庁掲示板や、QRコードを使って県庁ホームページに誘導するなど、簡単でわかりやすく伝えられる取組を具体的に進めていく。

☆質問 ☆(国民健康保険) 県が国保の運営主体となって5年、運営の実態は? 保険料水準を市町村間で統一することについての議論はどうなっているか。

☆答弁 ☆(福祉保健部長) 保険料収納率は向上し、差押件数は減少。短期被保険者証や、資格証明書の交付世帯数も減少している。保険料水準については市町村毎に医療費水準、保健事業の内容、保険料の算定方式などが異なる。統一化における課題について、県と市町村の連携会議で整理をしている。

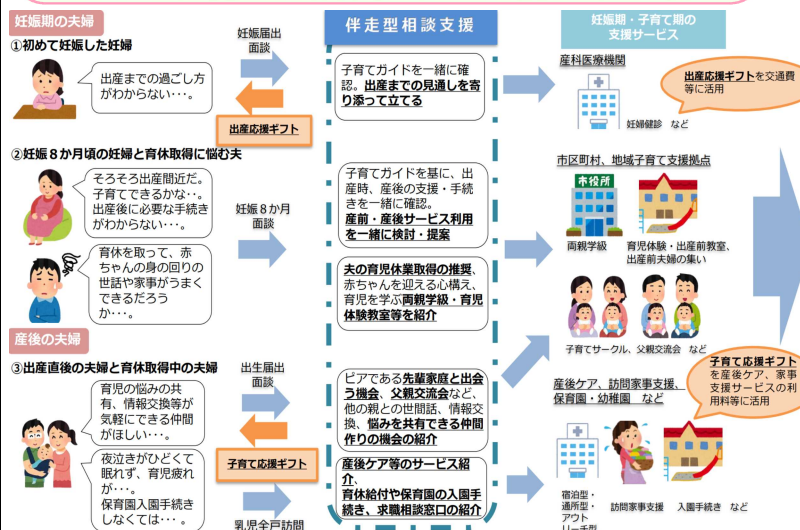
送迎用バスに安全装置を設置 1億1千万円

子どもを送迎するバスに置き去りにして、死亡させた事件を機に、政府は全国のスクールバスや、幼稚園バス、放課後デイサービスなど、子どもの送迎に利用される車両のすべてに、安全装置の設置を義務化しました。そのために必要な機器の設置に必要な費用助成に11月議会に1億1千万円ほどが補正予算として提案されました。



運転士が最後尾まで行き、ボタンを押さないと音が消せない装置や、AIが人の存在をカメラ監視するタイプなど様々な機種があります。

出産・子育て応援事業 8億5千万円



市町村が、妊娠届出の時から、出産後の特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添いながら、出産・育児等の悩み事に応じて支えていく伴走型相談支援の充実を図ります。また、妊娠届出時に5万円、出産届出時に5万円と、妊婦等に対して出産育児関連用品の購入費などに当たる目的の金品の支給を行います。

核家族化が進み、地域の支援も希薄となっていく中で、孤立した妊娠・子育てになることを防ぎ、安心して子育てできるように相談支援機関との関係を密に出来る工夫をしています。

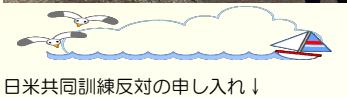
2022年4月以降に妊娠や出産された方を対象として事業がスタートします。

〈近況報告〉 ◆11月1日～2日臨時議会 台風14号災害対策、原油高対策などに253億1千万円余の補正予算案。 ◆11月18日～12月7日定例県議会 台風14号災害の復旧・復興費や物価高、コロナ禍で疲弊した経済対策など344億円余の増額補正予算案など。職員の定年延長に関する条例改正や個人情報保護法の施行条例、地方公共交通維持のための財政支援を求める意見書、LPガス料金上昇抑制のための財政措置を求める意見書など採択しました。すべてを掲載できませんので詳しくは県広報や宮崎県庁ホームページをご覧ください。

〈さまざまなスナップ〉



新しい県水産調査船の就航 街頭から国民生活を守れと訴えました↑



日米共同訓練反対の申し入れ↓



「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集い↑ 高鍋町議選の応援に→

